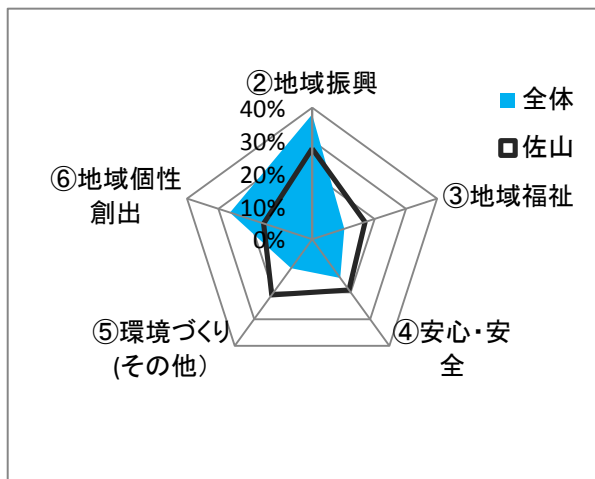


佐山地域づくり協議会 地域づくり交付金事業概要(平成27年度)

■地域の情報

地域人口	2,706人	自治会数	12
世帯数	1,005世帯	自治会加入率	94.43%

※数値は、平成28年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	9,507,000 円
交付金決算額	9,305,000 円
その他収入	431 円
交付金決算額/配分額	97.9%

各分野の決算

①協議会運営	3,514,768 円
②地域振興	935,841 円
③地域福祉	574,246 円
④安心・安全	646,163 円
⑤環境づくり(土木工事)	2,400,000 円
⑤環境づくり(その他)	708,661 円
⑥地域個性創出	525,752 円
決算総額	9,305,431 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

佐山地区内の各種団体等が相互に協力・連携することにより、地域課題を解決するとともに、その活動を通じて、コミュニティ意識の高揚、更なる地区内の活性化を図ります。

■総括

前年度に引き続いて、自主防災組織の強化・浸透、国道190号線沿いの花壇ボランティアなど、既存組織の強化を図ることができました。今後は、潜在ニーズの掘り起こしにも目を向け、世代を超えた新しい組織づくりや事業の実施も検討してまいります。

■分野別事業名

① 協議会運営	事務局の運営
② 地域振興	地域づくり協議会広報紙発行事業、地域情報メール配信サービス、サンパーク買物便運行事業、地域づくり協議会活動推進事業
③ 地域福祉	NPO法人あい・ねっと佐山支援事業、健康活動推進事業
④ 安心・安全	自主防災組織基盤強化事業、反射鏡設置事業、防犯組織基盤強化事業、学童注意喚起看板設置事業
⑤ 環境づくり	土木工事(法定外公共物)、土木工事(単市土地改良)、環境づくり推進事業、国道190号線沿い花壇整備事業、佐山子どもの森(仮称)整備事業
⑥ 地域個性創出	日帰り研修(バス研修)事業、川西4校教育講演会助成事業、ふれあい大運動会助成事業、佐山地区ふるさとまつり助成事業

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	自主防災組織基盤強化事業	決算額	273,587円
	目的	地域自主防災意識の啓発と組織強化		
	実施内容	防災総合訓練、こども防災体験学習会、防災備品等の整備。		
	実施時期	平成27年4月から平成28年3月まで		
	参加人数	300人(総合防災訓練参加者)、こども防災体験学習会40人(参加者)		
	成果	①不足する防災備蓄品等の充実を図ることができました。②佐山地区総合防災訓練により <u>当地域の課題を再認識することができました。</u> ③子ども防災体験学習会では、 <u>防災に対する感性を身につけてもらうことができました。</u>		
	評価	単位自治会での自主防災意識の高揚に寄与するとともに、佐山地域全体の防災についての課題を確認することができました。		
	今後に向けて	防災意識・活動を地域全体に広げていきます。		
②	事業名	国道190号線花壇整備事業	決算額	362,932円
	目的	環境美化の意識付けと活動を通じたコミュニティの基盤強化		
	実施内容	国道190号線沿いの花壇の整備を実施		
	実施時期	平成27年4月から平成28年3月まで		
	参加人数	延べ1,200人(地域づくり協議会事務局・ボランティア等)		
	成果	地域づくり協議会が中心となったボランティア組織も創立から4年目となり、活動内容も充実してきました。		
	評価	ボランティア会員による献身的な活動により、地域内外での知名度もあがっており、 <u>新規会員の獲得にもつながりました。</u> また、中高生ボランティアの参加により、世代間交流の場としても定着しています。		
	今後に向けて	更なる事業の拡大を計画するとともに、事業の充実を図るため、ボランティア組織の拡充と組織運営のスキルアップを図ります。		
③	事業名	佐山地区ふるさとまつり助成事業	決算額	198,028円
	目的	地域のふれあいと文化の継承		
	実施内容	佐山地区ふるさとまつり運営費の助成(ミニSL運行費、まつり備品購入助成)		
	実施時期	平成27年11月1日		
	参加人数	1,500人(ふるさとまつり実行委員会・一般参加者等)		
	成果	中高生ボランティアの活躍はじめ、地域住民全体の協力で行われる地域内最大のまつりの運営費用等の助成を行うことにより、地域内外に佐山地域の魅力を発信することができました。子ども向けのイベントに力を入れることで、幅広い年齢層の集客にも寄与できました。		
	評価	費用の助成のみならず、 <u>地域づくり協議会として展示コーナーを設けるなど、地域づくり協議会の活動のPRを行うことができました。</u>		
	今後に向けて	今後も企画段階から積極的に参加し、地域住民に喜んで参加いただけるようなまつりづくりを進めます。		